

＜ もくじ ＞	
1. 巻頭言 この10年における時間感覚の変容	1
2. 2021年度総会・大会についてのお知らせ	2
3. 第6回研究会合同シンポジウム概要報告 ガバナンス研究会	3
4. 研究会からのお知らせ	3
5. 研究会からの概要報告	4
6. 事務局からのお知らせ	5

## 1. 巻頭言 この10年における時間感覚の変容

「コロナ禍」の世界的拡大から1年以上が経過し、不自由な生活に耐えながら、われわれは、いずれは元の安定した生活を取り戻せるという希望を持ち続けています。ここ数年間でも、2016年の熊本地震、2020年全国の集中豪雨災害、さらには今年3月の宮城県沖の震度5強の地震があり、被害を免れたわれわれは被災者を気遣いながらもその都度やれやれと胸をなでおろしています。しかし、これらの経験が積み重なり、新たな大地震の襲来が警告され、温暖化の深刻な影響はすでに現実となっている中で、われわれに近視眼的に事態をやり過ごす傾向はないでしょうか。



この10年で、原発の廃炉作業は自分や次世代の生涯をかけても見届けられず、福島からの避難者の現状を見るにつけ復興という言葉は軽々に使えないことを思い知ることになりました。また、過去のパンデミックは文明的転換をもたらした事実を振り返るとき、われわれの時間感覚は、無意識のうちにも変化しているのを感じます。つまり、持続可能な社会のあり方を考えようとすれば、原発事故や津波災害、パンデミックの影響は今後数世代の生活に及ぶ長期的スパンでとらえる必要性があり、過去の危機を乗り越えてきた長期にわたる世界の歴史に学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

日本の政治は、バブル崩壊後もグローバルな金融経済によって、国民の間に格差と貧困を拡大させ、この10年の間に、経済成長を目指しながらも抜本的産業構造改革をすることもありませんでした。原発事故についても責任を負うべき国や電力会社は金銭での解決を優先し、コロナ禍の時間的停滞期にも、広い視野に立って思考を転換し大きな手立てを講じるどころか、従来の経済成長至上主義に執着し、近視眼的な経済回復に躍起となっているようにしか見えません。

近年になるほど災害やパンデミックの原因の大部分は、「自然」より「社会」にあると考えざるを得なくなっています。しかもその被害の影響は、時間的・空間的にますます拡大しつつあります。社会の一員であるわれわれは、災害の原因やその途方もない影響に対し程度の差はあれ責任を負っています。原発事故は社会が引き起こす災害の最たるもので、われわれの世代で手に負えない課題を先送りせざるをえません。しかし今誰が何に対していかなる責任を負うべきなのか、またその責任をどう果たしていくかを考える必要があります。その責任は本来金銭で償えるものではなく、組織と個人、人と人との間の信頼による解決が求められます。今起きている事態の原因と行く末を長期にわたる時間的スパンで冷静に見定め、組織や個人も自世代で果たせる責任と、果たすことも難しい責任を自覚しつつ、それぞれの立場で、可能な行動を選択する必要があるのではないのでしょうか。当学会でも、原発問題の深刻さを自覚し、果たせない責任の痛みを忘れることなく、微力ながらフクシマ原発事故問題を風化させない努力を続けたいと思います。

一般社団法人シニア社会学会事務局長 長田攻一

## 2. 2021年度総会・大会についてのお知らせ

### (1) 2021年度総会開催方法について

2020年より1年以上続いている新型コロナウイルス感染状況にまだに改善が見られません。当学会では、6月27日(日)に総会を開催する予定ですが、昨年同様最小規模にて開催することになりました。

総会は招集しますが、会員は会場に来場することなく、委任状の提出あるいは書面(郵送または電磁式)によって議決権を行使することができます。総会の成立には、過半数の委任状ないし議決権行使が必要となりますので、電磁式か郵送法のいずれかによって委任状提出または議決権行使をお願いいたします。

委任状の提出あるいは書面による議決権行使は、「電磁式」と「郵送法」の組み合わせによって行います。郵送の方はお送りする返信ハガキで、またメールでお知らせを受け取る方は、以下の二つの方式のいずれを選択されるかについて5月12日(水)までに専用フォームでご回答ください。ご自身の選択された方法に従って、6月24日までに議決権行使をお願いいたします。詳細については、近日中に改めて説明文をお送りします。

1) 日時：2021年6月27日(日) 13:00~13:30

2) 方法：過半数の会員による書面による議決権行使を前提とする少人数開催

3) 開催場所：労働者協同組合連合会会議室

※ 過半数の会員による議決権行使、または会長への委任状が必要となりますので、近日中に説明文をお送りし、議決権行使フォームを用意いたしますのでよろしくお願いいたします。

### (2) 2021年度第20回大会について

今年度の大会は、昨年同様オンライン開催となります。昨年との違いは、参加者は録画映像を見るのではなく、オンラインで全員が同時に参加していただくことになりました。ただし、会員・非会員を問わず事前にお申込みいただき、お送りするZoomのURLからご参加いただく形をとりたいと思います。また、参加者にはシンポジウムの後、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使ったグループ討論にも参加していただく試みも行いますので、ご期待ください。

1) 開催日時：2021年6月27日(日) 14:00~16:30

2) 開催拠点：労働者協同組合連合会会議室(司会者、基調講演者、パネリスト、コメンテーター、会場サポーターのみが集合)

3) 参加方法：Zoomによるオンライン参加

4) 大会テーマ：「高齢者のICT活用~コロナ禍を超えて~」

5) 基調講演：澤岡詩野(当学会理事・ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員)

6) シンポジウム

パネリスト：片山嗣規(なかの生涯学習大学「ICTサポートチーム」)

大津駿介(なかの生涯学習大学「ICTサポートチーム」)

橋本みどり(なかの生涯学習大学「ICTサポートチーム」)

柴田 守(会員、ナルク市川、社会情報研究会メンバー)

コメンテーター：荒井浩道(当学会理事・駒澤大学教授)

司会：袖井孝子(当学会会長)

7) グループ討論(Zoomのブレイクアウトルームを活用)

※ 詳細については、添付のプログラムをご参照ください。

### 3. 第6回研究会合同シンポジウム概要報告 「ガバナンス研究会」主催 「在宅で看取る・看取られるために」～全国初の“終活互助”へのチャレンジ!～

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、昨年3月に開催予定だったシニア社会学会研究会合同シンポジウム・ガバナンス研究会による「全国初の“終活互助”へのチャレンジ!」は今年3月14(日)に延期、オンラインによる開催となった。

当日は13:50、司会の長田攻一事務局長よりオンラインによる無料シンポジウムの招待メールを受けた参加者39人が入室。14:00、開会挨拶があったあと、最初にガバナンス研究会の川村匡由座長が「全国初の“終活互助”へチャレンジ!」と題し、基調講演を行った。

- 1) 日 時：2021年3月14日(木) 14:00～16:00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) テーマ：「在宅で看取る・看取られるために」～全国初“終活互助”へのチャレンジ!
- 4) 発表者：基調講演：川村匡由(当学会理事・ガバナンス研究会座長)  
発表事例：石井三智子(日本社会事業大学講師)  
江幡五郎(元武蔵野市高齢福祉課長)  
野上隆憲(NPO地域政策ネットワーク理事長)  
コメンテーター：袖井孝子(当学会会長)  
濱口晴彦(当学会副会長)

講評として、袖井会長は「終活を地域の助け合いにまで拡大しており、新鮮で期待されるが、家族は了解済みか。理事死去後の継続性や有志の参加は大丈夫か」、また、濱口副会長は「ヒューマニズムをもとにした“終活コミュニティ”づくりに関心を持つが、プロジェクトの持続性やメンバーの途中交代への対応はどうか」、さらに、「終活をめぐる意見交換が困難な中山間地域での取り組み方は課題では」の意見も聞かれたが、参加者には関心が高く好評であった。

尚、詳細は2021年版「エイジレスフォーラム」第19号「第6回研究会合同シンポジウム」ガバナンス研究会主催「在宅で看取る・看取られるために」～全国初発“終活互助”へのチャレンジ!～を参照して下さい。(川村 記)

### 4. 研究会からのお知らせ

#### (1) 第19回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年4月21日(水) 15:00～17:00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) 概 容：今後の研究会の進め方について、前回のアイデア出しのまとめ  
※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

#### (2) 第75回「シニア社会のリテラシー」研究会

- 2021年4月22日(木)に予定の研究会は、延期致します。  
※ お問い合わせは、島村(ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)までお願い致します。

#### (3) 第63回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時(予定)：2021年5月8日(土) 13:30～15:30
- 2) 方 法：Zoomによる会議方式
- 3) 報告者：野坂真(早稲田大学)
- 4) テーマ(仮)：「地域社会における災害復興と地域存続—東日本大震災前後における岩手県大槌町・宮城県気仙沼市の津波被災地域を事例として—」
- 5) 参加費：無料  
※ 今回は事前にメールで長田または野坂までお知らせ下さい。お申し込みフォームのURLをお送りします。長田攻一(pfb00052@nifty.com)、野坂真(sn.nozaka@gmail.com)

#### (4) 第131回「社会保障研究会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年5月19日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者：田中雅英(東京都高齢者福祉施設協議会会長)
- 3) テーマ：「コロナ禍の施設に求められる変革——介護保険の東京23区問題の解決策」
- 4) zoomで開催いたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。  
阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp 小島みさお kojima.misao01@gmail.com  
※ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

#### (5) 第12回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年5月28日(金) 18:30~20:00
- 2) 場 所：きゅりあん(品川区立総合区民会館)
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会等)
- 4) テーマ：市民が市民を支える社会をつくります  
認知症の方など皆が住みよいまちにしたいと思っています。故 志村けんさんの「ひみ婆さん」の笑いを引き継いで人形劇に加えてコントに挑戦します。  
※ お問い合わせは、鈴木 眞澄(mme\_masumi@yahoo.co.jp)迄お願い致します。

#### (6) 第1回「在宅で看取る・看取られるために~全国初“終活互助”へのチャレンジ」ガバナンス研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年6月下旬(日時は次号以降にてお知らせします)
  - 2) 方 法：対面、Zoomいずれかによる会議
  - 3) 報告者：川村匡由(当学会理事)
  - 4) テーマ：これまでの数回開催の「ガバナンス」研究会を総括し、2021年3月14日(日)開催の合同シンポジウム「在宅で看取る・看取られるために」~全国初“終活互助”へのチャレンジ「ガバナンス」研究会に刷新。新事務局の設置および向う5年の事業計画の設定。
  - 5) 参加費：100円：※事前に下記川村宛のe-mailで申込みいただき、研究会会員として登録、以後武蔵野市境の地域サロン「ぷらっと」で定期的に会議。
  - 6) 募集人員：10人(従来のガバナンス研究会から5人程度参加、新たな参加者を迎え取り組みます)
- ※ お問い合わせとお申込みは、川村(kawamura0515@yahoo.co.jp)迄お願い致します。

## 5. 研究会からの概要報告

#### (1) 第18回「社会情報」研究会の報告

- 1) 日 時：2021年3月17日(水) 15:00~17:00
- 2) 場 所：Zoom開催
- 3) テーマ：今後の研究会の進め方についてアイデア出し  
今回は新たな参加者が1名あった。また、前回に続き遠方からの参加者もあり、時間や距離に関係なく参加できるというWeb開催のメリットを実感した。さらに、事務局から社会情報研究会に、大会でのテクニカルサポートの依頼があり、本研究会の実践的活動として取り組む方向である。今後の研究会の進め方として、
  - ・インプットとして、  
ICTに関わる現状・動向の検討：とくにコロナ前後の変化に焦点を当てて聞き取り調査(専門家へのヒアリング、ICT活用の高齢者の事例、ICT利用に関する世代間調査)
  - ・アウトプットとして、  
レクチャー支援のサービス(大会でのサポートもこのテーマとなる)  
短時間のお役立ち講座のweb配信など、昨年の報告の内容を深掘する



・実践フィールドの進捗をフィードバック  
などが挙げられた。

また、オンラインでのやり取りが増えている今、フリーアナウンサーとしてラジオなどで活動している参加者のもとに、「オンラインでの話し方・見えない相手にどう話すのか」という内容の講演依頼が増えているということであった。そこで、研究会特別講座第2弾として「伝え方講座」はいいのではないかと、という展開となった。 (森 記)

## 6. 事務局からのお知らせ

### <会員情報変更時のご連絡のお願い>

コロナ禍中、各種ご連絡をメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・eメールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による会員情報変更等の連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あてに、eメール: [jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) 又は郵送いずれかの方法にてお知らせくださいますようお願いいたします。

### <5月JAAS Newsの発行日>

次回JAAS News 第261号の発行日は、5月19日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、5月15日（土）までをお願いいたします。

### <まん延防止等措置中の事務所の開室について>

事務局は、東京23区に出された「まん延防止等重点措置」を受け2021年5月11日（火）まで休室とします。その後は様子を見て開室日程をホームページにてお知らせします。その間、電話・FAXはご利用できませんのでご容赦ください。ご不便をおかけしますが、ご用件、お問合せは、出来るかぎりeメールでお願いいたします。

新型コロナウイルス感染の終息は、いまだ見通しは立っていません。皆さまそれぞれ自粛されていることと存じますが、今後とも十分な注意を払ってお過ごしいただきますようお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人シニア社会学会・事務局（水、および月または金オープン）  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-4 ナカヤビル202  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/